新教出版社・新刊案内　2022 年 2 月 15 日発売

人間存在に内在する宗教性について

三浦永光［著］

四六判・並製・203 頁・本体 1,500 円（税込定価 1,650 円）
ISBN 978-4-400-40757-7　C1016

人間とは何者か――

**人間存在の本質に迫ってその宗教性を明らかにすると共に、
内村鑑三の感化を受けて鮮やかな生の軌跡を描いた
三人の先達、留岡幸助、井口喜源次、黒崎幸吉の生涯をたどる。**

現代に求められている宗教性を探る

三浦永光（みうら・ながみつ）

1938 年、東京生まれ。1961 年東京大学教養学科卒業、1967 年東京都立大学博士課程満期退学。高崎経済大学助教授、津田塾大学教授を経て、現在津田塾大学名誉教授。著書は『国際関係の中の環境問題』（編著、有信堂、2004 年）、『環境思想と社会――思想的アプローチ』（御茶の水書房、2006 年）、『ジョン・ロックとアメリカ先住民――自由主義と植民地支配』（御茶の水書房、2009 年）、『改訂版 現代に生きる内村鑑三』（御茶の水書房、2017 年）、『聖書と農』（新教出版社、2021 年）ほか。

【目次より】

第一部　人間学と宗教性
第一章　総合人間学の試論とその課題
第二章　人間存在に内在する宗教性の考察
第三章　シューマッハーの「超経済学」とその宗教的性格
第四章　エリアーデの宗教論
第二部　内村鑑三とその周辺――歴史的回顧
第一章　留岡幸助と内村鑑三
第二章　井口喜源治と内村鑑三
第三章　若き黒崎幸吉の回心とその後の歩み
結　論